

はやしだより

公益財団法人 林精神医学研究所
附属林道倫精神科神経科病院

〒703-8520
岡山県岡山市中区浜472番地
TEL : 086-272-8811
FAX : 086-273-9944



ホームページ
<http://www.hayashi-dorin.or.jp/>
E-mail : hamawww@po.harenet.ne.jp

2013年9月発行 広報誌 第17号 発行責任者 星 昌子

【病院理念】
その人らしく生きられるように共に支えあいます

【基本方針】 1.「心の病」の予防、治療、リハビリに取り組みます
2.人権を尊重し、安全・安楽・信頼の医療に努めます
3.地域と連携し、誰でも安心して暮らせる地域づくりに努めます



衣装「ブラウス・スカート」



ちぎり絵「ひまわり」



貼り絵「向日葵と背くらべ」

ひまわりホール作品展



貼り絵「笑顔がいっぱい」

ひまわりが咲き並ぶ季節の8月5日～9日の5日間、ひまわりホールで「ひまわりホール展」を林友の会主催で開催しました。

絵画や写真をはじめ、ビーズ作品や手芸作品、詩など多彩な作品が、患者さんやそのご家族、職員の皆さんなどから寄せられました。

今回はその一部をご覧ください。

安心して暮すために 地域連携室のご紹介

地域で生活する患者さんの「サービスの谷間を作らない取り組み」を強化するために、地域連携室機能を整理しました。

ご本人、ご家族、地域の医療福祉機関等からの相談窓口として山近（看護師）・松岡（精神保健福祉士）の2名を中心に精神保健福祉士で対応します。

林病院地域連携室は入院相談のみならず、受診困難ケースや医療福祉サービスを中断している方の相談窓口となり、外来や訪問看護ステーション等と協同でアプローチし、地域で生活を続けるための支援を進めます。

また、デイケアへ登録しているが参加が難しい方、中断傾

向にある方、単身の方への訪問活動をおこない、地域での生活をサポートする取り組みを行ないます。

4月より訪問活動を開始しており、林病院に外来登録している単身の方への自宅訪問を実施しています。自宅ということもあり、ゆっくり時間をとって話を聞くことができ、生活背景の把握がしやすくなっています。今後の生活相談を行なうにあたり、より具体的に相談しながらすすめていくことができるようになりました。

地域連携室では地域医療部での情報の共有を図り、病院と地域医療・保健福祉機関との連携を強め、誰でも安心して暮らせるための支援を行なっていきたいと思えます。



▲ 左が松岡さん。右が4面にも登場する山近さん。

林病院では、 無料・低額診療事業 を実施しています。

当院では、患者さんの受療権を守るとりくみとして、無料・低額診療事業（無低診）を実施しています。無低診を適用されますと、当院の医療費が無料または低額になります。



外来にあたる『けやき通りメンタルクリニック』でも、無低診を実施しています。そして、認知症専門の関連病院、『岡山ひだまりの里病院』でも、今年の1月より、無低診を実施する運びとなりました。

経済的な理由で医療費の支払いが難しい方、お気軽に、相談室または受付まで、ご相談ください。適用にならない場合でも、解決策を一緒に考えていきましょう。

楽しく学ぶ救急処置

もしも、あなたの目の前で突然人が倒れたら・・・。心停止傷病者の救命は、一連の緊急処置にかかっています。当院で8月10日に行った学習会では、一次救命処置（胸骨圧迫・人工呼吸・AED）を中心に学びました。暑い中でしたが受講者、インストラクターともに、多職種・多部門・多病院からたくさんの方に参加していただきました。

実技を中心に行い、獲得目標としていた、正確な胸骨圧迫、安全にAEDを使用できることが、達成できたように思います。最後のグループ発表では、目の前で人が倒れた場面を想定し、しっかりとした一次救命処置ができるようになりました。とても有意義な時間でした。

患者さんや身近な人の身に異変が起きた時、勇気と自信を持って行動できるように、今後も明るく・楽しく・わかりやすい、救急の学習会を予定しています。皆さんも是非、ご参加ください。



実際の場面を想定し行う救命処置

こころの病気のコーナー

その人にあった支援 アスペルガー症候群について

発達障がいの一例であるアスペルガー症候群は、生まれながらの脳機能のかたよりのために能力のバランス差が大きく、苦手なことが人よりも多かったり、他の人が何気なくできることを失敗してしまったりして、周りから誤解を受けてしまうことがあります。

アスペルガー症候群の3つの特性、①コミュニケーションの特性、②想像力の特性、③社会性の特性、はいずれも行動特徴であり、一見、「変わった人」と見られることもあります。また発達障がいがスペクトラム（連続体）の障がいと言われており、アスペルガー症候群以外の発達障がいの特徴を重ね合わせていることも多

いため（例、ADHD、LDなど）、関連の障がいも含めて特性を理解し、その人にあった支援を受けることも大切です。基本的には、良いところを伸ばして自信がつくと苦手な部分が目立たなくなるようです。

当院でもご本人にあったサポートを心がけています。もしも気になることがある場合はお気軽にご相談ください。

（参考文献：大人のアスペルガー症候群 監修・佐々木正美・徳永雄二）

アスペルガー症候群の3つの特性

◎ よい面

- ・素直で正直
- ・人にはない感性を持つ

● 困った面

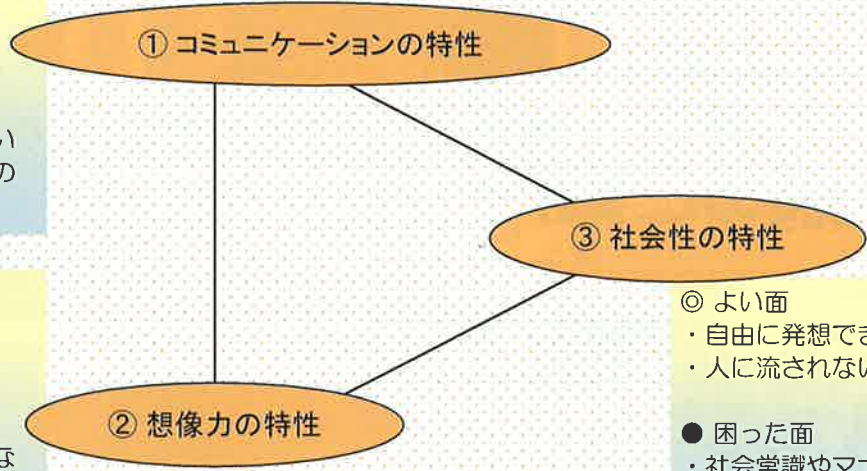
- ・他人の意図を読み取れない
- ・人の話を聞いて理解するのが苦手

◎ よい面

- ・反復作業、単純作業をいとわず、正確にできる

● 困った面

- ・興味の偏りが強く、頑固な面がある
- ・臨機応変な対応ができない



◎ よい面

- ・自由に発想できる
- ・人に流されない

● 困った面

- ・社会常識やマナーがなかなか身に付かない

昨年八月に成立した「消費増税法」では、消費税率は来年四月に8%、再来年一〇月には10%と、二段階で引き上げられることになっていきます。引き上げられるか据え置かれるかは、今年の一〇月にも首相が最終判断するそうです。

景気は良くなっているかと聞かれたら、個人的には「否」と答えるでしょう。企業の業績が上向きになるうとも、自分たちの生活が良くなったと実感できなかったら、景気が良くなったなんて、とても言えません。それなのに四月から消費税増税となると、生活は不安だらけです。

消費税を上げることで、私たちの生活が確実に向上するのなら、増税も仕方がないことなのかと思いません。最初に消費税を上げた時の大義名分は福祉の充実でした。しかし現実はどうでしょうか。医療、福祉のサービスは下がる一方です。

お小遣いの額が庶民とは一桁以上違うであろう議員さんたちが決めた法律。国の大局も大切です。でも私たちの生活はいいでしょうが護ってくれるのでしょうか。

コラム
天声心語

キラキラ★スタッフ

山近 めぐみ 看護師



▲いつもすてきな笑顔で
対応してくれる山近さん。

今回は地域連携室の、山近さんにインタビューしました。

★ どんな仕事をされていますか？

地域で生活する患者さんの「サービスの谷間を作らない取り組み」を強化するために、林病院へ通院中の方を対象に、単身の方、デイケア参加回数が少ない方、受診が中断してしまっている方への自宅訪問を行っています。

★ 仕事のやりがいは何ですか？

新しい部署なので、手さぐりをしながら形にしておくこと、訪問をして、生活の場でいろいろな話や相談ができることです。何よりのやりがいは、訪問を快く受け入れてくれる患者さんの存在があることです。

★ 趣味は何ですか？

今はナンプレや、クロスワードパズルにはまっています。

★ 山近さんからみて、林病院はどんな病院ですか？

家庭と職場が両立しやすい病院です。

★ 患者さんへのメッセージをお願いします。

長いトンネルも必ず出口はある！ 辛さに勝とうと思わずに負けない！ と思ってください。私もそう思って、がんばっています。

★ 山近さん、どうもありがとうございました。

診察のご案内

● 入院対応

入院のご相談は、**入院担当看護師**へお電話ください。夜間・休日も対応しています。

TEL : 086-272-8811

● デイケア・ナイトケア

9:00~20:00 月曜日~土曜日

● 重度認知症患者デイケア (わたぼうし)

9:30~15:30 月曜日~土曜日

● 林病院歯科

診療時間：午前 9:00~12:00

午後 13:30~16:30

	月	火	水	木	金	土
午前	武内	武内	武内	武内	武内	休診
午後	武内	武内	武内	武内	往診	休診

林病院へのご案内



林病院へは・・・

- ▼ 岡山駅よりタクシー約10分
- ▼ 山陽本線(赤穂線)西川原駅より南へ徒歩13分
- ▼ 岡山駅東口バスターミナルより岡電バス「藤原団地行」、宇野団地入口で下車。西へ徒歩約2分
- ▼ 岡山駅東口バスターミナルより宇野バス「東岡山線」、林病院入口で下車。西へ徒歩約2分

